

MERIT インターンシップ（国内）報告

工学系研究科 応用化学専攻 藤田研究室

修士課程 2年 朴 治彦(11期生)

インターンシップ概要

- ・実施期間 : 2023/1/30 ~ 2023/3/24 (54日間)
- ・受入れ先 : Institutional Shareholder Services (ISS)
- ・研究課題 : 金融業界における調査分析システムに関する研究

研究背景

- ・私は、議決権行使助言会社であるISS社で長期インターンシップに挑戦した。
- ・ISS社は、世界シェア1位(61%)を誇る議決権行使助言業界のリーディングカンパニーであり、最高レベルの業務スキルセットを学べる環境であった。
- ・ISS社でのインターンシップを通じて、情報処理能力、ロジック、社会感覚(High-pressure environment)といったスキルセットを身につけたいと考えた。

業務内容

- ・私は、ISS社で以下の業務を担当した。
 - 業務内容1 : 韓国企業の株主総会における案件分析
 - 業務内容2 : 案件の賛否に関わる情報収集
- ・具体的には、以下のような成果を得ることができた。
 - 成果1 : ISSガイドラインに従って韓国企業の財務諸表などの情報を正確に収集した。
 - 成果2 : ミスは一つも許されない環境で、短期間に大量の仕事をやりこなした。
 - 成果3 : 財務および戦略計画、リスク管理、ビジネスの運営方法、様々な業界が直面している動向や課題を理解することができた。
- ・これらの業務を通じて、私は、ロジックを基盤にして情報を短期間に処理し、High-pressure environment で仕事をやりこなす能力を身につけることができた。
- ・私は、これらの業務を通じて、化学の研究分野とは全く異なる金融分野でどのように情報が収集されていて、どのように分析が取り組まれているかが分かった。
- ・さらに、ビジネスの世界における課題や動向を理解することができた。



(左)オフィスのロビー (右)ロビーから見える夜景

所感

このインターンシップは、私が化学の研究分野から一歩外れて、広い世界を見るきっかけとなった。この経験は、私が将来的には研究のことを知っている経営者になることを目指す上で、金融業界における情報収集と分析方法は非常に貴重なものだった。

ISS社での業務は、高いプレッシャーの環境で行われた。しかし、私はそれを乗り越えることができた。短期間に大量の業務をこなすためには、粘り強い精神力、ロジックを基盤にした素早い情報処理能力が必要だった。この経験を通じて、私はさらに高い精度で情報を収集し、正確な結果物を作成することができた。

さらに、ISS社での業務を通じて、財務および戦略計画、リスク管理、ビジネスの運営方法、様々な業界が直面している動向や課題を理解することができた。ビジネスの世界における課題や動向を知ることで、将来的にはビジネスを経営する上で、より深い知見を持つことができるようになると思う。

総合的に、ISS社での長期インターンシップは、私にとって未来に向けた自信を与えてくれた貴重な経験だった。私は、化学の世界から外れ、金融業界に身を置くことで、新しい視野を開き、研究のことを知っている経営者として成長するための重要なステップを踏み出すことができた。

謝辞

ISSでのインターンシップを受け入れていただいたJieun Chang氏に心から感謝申し上げます。また、インターンシップへの参加を快諾してくださった指導教員の藤田先生、副指導教員の塩谷先生、MERIT事務局の皆様にも心より感謝いたします。